



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日
東

上場会社名 塩水港精糖株式会社 上場取引所
 コード番号 2112 URL <http://www.ensuiko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 久野 修慈
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 小田 俊一 (TEL) 03-3249-2381
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,879	10.0	171	△30.2	296	△19.2	224	△18.7
2022年3月期第1四半期	6,255	2.5	245	△14.6	366	△12.2	276	△13.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 198百万円(△25.4%) 2022年3月期第1四半期 266百万円(△31.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	8.24	—
2022年3月期第1四半期	10.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	25,902	10,441	40.3
2022年3月期	26,114	10,379	39.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 10,441百万円 2022年3月期 10,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,300	0.7	460	△43.0	510	△43.8	330	△45.9	12.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	35,000,000株	2022年3月期	35,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	7,773,675株	2022年3月期	7,773,675株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	27,226,325株	2022年3月期1Q	27,154,325株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症がワクチン接種の進展等もあって徐々に鎮静化する中で、経済活動への影響は軽減され、一時は景気も緩やかな持ち直しの動きが見られました。しかしながらロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う世界的な資源・エネルギー価格の上昇や円安による輸入価格の上昇が経済活動への影響を強めており、景気の先行きは依然として予断を許さない状況で推移しました。

このような環境の中で、当社および当社グループはお客様、地域社会、関係取引先、従業員およびその家族の安全と健康を確保することを最優先に、生活必需品である砂糖や、オリゴ糖をはじめとした機能性素材等の製品を、非常時においても安定して消費者の皆様にお届けすることを第一義に考え、お客様のおなかの健康に貢献する「おなかにやさしい会社」として、年度計画達成に向けて全力で取り組んでまいりました結果、当第1四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

①砂糖事業

海外原糖市況は、ニューヨーク市場粗糖先物相場（当限、1ポンド当たり）が19.42セントで取引を開始しました。ロシアのウクライナ侵攻に起因する原油価格高騰を受け、砂糖主要生産国ブラジルでさとうきびを原料とするエタノール生産比率の上昇観測が高まり、砂糖生産量の減少が懸念され、4月中旬には20.51セントの高値をつけました。5月中旬になるとブラジルの燃料価格引下げ政策によるエタノール生産減、砂糖生産増の見通しが強まったため調整に転じ、結局18.83セントで当第1四半期連結累計期間を終了しました。

国内市中価格（日本経済新聞掲載、上白大袋1kg当たり）は、期初204円～205円で始まり、同水準のまま当第1四半期連結累計期間を終了しました。

精糖およびその他糖類など国内販売のうち、家庭用製品は大手量販店における特売の減少等の影響から前年同期の出荷数量を割り込みました。一方で、業務用製品については人流回復により外食産業向けや土産品等向けが復調するとともに、氷菓や飲料向け等の夏物需要も好調に推移したことから売上高は前年同四半期を上回りました。

以上の結果、砂糖事業全体の売上高は6,398百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント利益は325百万円（前年同四半期比21.2%減）となりました。

②バイオ事業

オリゴ糖部門では、長引くコロナ禍において免疫力強化として注目される「腸活」ブームを追い風に、当社の特定保健用食品「オリゴのおかげ」シリーズの拡販に注力してまいりました。その結果、同製品はレギュラー品に加え大容量タイプの販売も好調に推移、売上高は前年同四半期を上回りました。

ビーツ部門は、前期に引き続き箱根駅伝の名監督原晋氏を起用するなど積極的な広告宣伝活動を行ってまいりました。また、商品ラインナップを拡大し、国内でのビーツの認知度向上そして当社ビーツ製品の拡販に努めてまいりました。

以上の結果、バイオ事業全体の売上高は491百万円（前年同四半期比6.0%増）、セグメント利益は137百万円（前年同四半期比7.4%増）となりました。

③その他

その他の事業につきましては、ニューE S Rビル事務所の一部賃貸等を行い、所有不動産の活用に努めました結果、売上高は33百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は6,879百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は171百万円（前年同四半期比30.2%減）、経常利益は296百万円（前年同四半期比19.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は224百万円（前年同四半期比18.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産合計は前連結会計年度末に比べて92百万円減少し、8,879百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,076百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金が199百万円、仕掛品が93百万円、原材料及び貯蔵品が661百万円それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産合計は前連結会計年度末に比べて119百万円減少し、17,023百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が48百万円、建設仮勘定が58百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて211百万円減少し、25,902百万円となりました。

②負債

負債合計は前連結会計年度末に比べて274百万円減少し、15,461百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が310百万円増加した一方で、有利子負債が570百万円減少したことによるものであります。

③純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて62百万円増加し、10,441百万円となりました。これは主に、利益剰余金が88百万円増加、その他有価証券評価差額金が24百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日付「2022年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,533	2,456
受取手形及び売掛金	1,726	1,925
商品及び製品	1,301	1,245
仕掛品	152	245
原材料及び貯蔵品	1,125	1,786
その他	1,133	1,219
流動資産合計	8,972	8,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,192	10,203
減価償却累計額	△7,399	△7,458
建物及び構築物(純額)	2,793	2,745
機械装置及び運搬具	12,101	12,169
減価償却累計額	△10,260	△10,341
機械装置及び運搬具(純額)	1,840	1,827
工具、器具及び備品	431	431
減価償却累計額	△377	△382
工具、器具及び備品(純額)	53	48
土地	5,234	5,234
建設仮勘定	76	17
有形固定資産合計	9,998	9,873
無形固定資産		
ソフトウェア	28	23
ソフトウェア仮勘定	4	—
その他	6	6
無形固定資産合計	38	29
投資その他の資産		
投資有価証券	4,781	4,798
長期貸付金	1,477	1,485
繰延税金資産	772	764
その他	72	70
投資その他の資産合計	7,104	7,119
固定資産合計	17,142	17,023
資産合計	26,114	25,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	883	1,194
短期借入金	4,800	4,800
1年内返済予定の長期借入金	2,748	2,632
未払法人税等	128	50
未払消費税等	39	112
賞与引当金	65	33
その他	937	990
流動負債合計	9,602	9,812
固定負債		
長期借入金	5,528	5,074
退職給付に係る負債	372	342
その他	232	232
固定負債合計	6,132	5,648
負債合計	15,735	15,461
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,750	1,750
資本剰余金	241	241
利益剰余金	12,099	12,188
自己株式	△2,976	△2,976
株主資本合計	11,115	11,203
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△734	△759
繰延ヘッジ損益	0	0
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	△736	△761
純資産合計	10,379	10,441
負債純資産合計	26,114	25,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	6,255	6,879
売上原価	5,253	5,936
売上総利益	1,002	942
販売費及び一般管理費	756	771
営業利益	245	171
営業外収益		
受取利息	6	6
受取配当金	56	66
持分法による投資利益	106	60
その他	2	15
営業外収益合計	172	150
営業外費用		
支払利息	26	23
支払手数料	22	2
その他	2	0
営業外費用合計	51	25
経常利益	366	296
税金等調整前四半期純利益	366	296
法人税、住民税及び事業税	67	52
法人税等調整額	23	19
法人税等合計	90	72
四半期純利益	276	224
親会社株主に帰属する四半期純利益	276	224

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	276	224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10	△24
繰延ヘッジ損益	△0	0
退職給付に係る調整額	1	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△9	△25
四半期包括利益	266	198
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	266	198

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	5,790	435	—	6,226	—	6,226
その他の収益(注3)	—	—	29	29	—	29
外部顧客への売上高	5,790	435	29	6,255	—	6,255
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	27	4	38	△38	—
計	5,797	463	33	6,294	△38	6,255
セグメント利益	413	127	15	557	△311	245

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	砂糖事業	バイオ事業	その他	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	6,391	458	—	6,849	—	6,849
その他の収益(注3)	—	—	29	29	—	29
外部顧客への売上高	6,391	458	29	6,879	—	6,879
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	32	4	43	△43	—
計	6,398	491	33	6,923	△43	6,879
セグメント利益	325	137	16	479	△307	171

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸収入等でありませ

ず。